

保安業務委託契約書添付リスト作成方法

1. 集中監視システムにてデータ抽出を行う（運行開発部）

リスト出力処理>マスタリスト>監視受託者名簿データ抽出

県ごとにデータ抽出を行い、抽出したファイルはフォルダにまとめる。

K:¥6 LPガス集中監視センター¥0000 集中監視センターデータ交換¥★★保安業務委託契約書添付リスト¥データ20XX年度¥1安全化抽出データ

※注意1：沖縄のみ、アパートマンション等の空き室については氏名がスペースになっているので、抽出したデータから氏名がスペースのものを削除する必要がある。

※注意2：岐阜県は未結線監視料金を請求せずに実際の監視は行っている。

そのため受託者名簿にはリストアップする必要があるため、H A N 2 M A S 上は未結線監視ありとして、未結線監視請求金額を0とする対応が必要。

2. データ変換を行う（運行開発部）

抽出データはCSVファイルで出力されるが、そのまま開くとJ A 支所コード・お客様コード・電話番号等の初めの0がカットされ数値として取り扱われてしまうため以下のツールで変換して監視センターに渡す。

K:¥6 LPガス集中監視センター¥0000 集中監視センターデータ交換¥★★保安業務委託契約書添付リスト¥ツール関連¥★一括データ変換.xlsm

★2019年度監視改善で、基礎ファイルをCSVでも取り込みできるように対応するか検討必要。

3. 監視センターシステム・一般消費者名簿メニューで処理を行う（監視センター）

(1) 一般消費者名簿取込にて上で作成した抽出データの取り込みを行う。

(2) L T O S 運用管理部にL T O S 情報の提供依頼を行い、提供されたL T O S 情報の取り込みを行う。
(L T O S 運用管理部に作業依頼を行い、監視センターシステムのL T O S データ取り込み用フォーマットを渡してそのフォーマットでデータもらう)

(3) 一般消費者名簿出力処理にて、該当県の1:一般消費者名簿の出力を行う。

L T O S 導入県で差分連動を行っていればこれで名簿が作成できる。

L T O S 未導入県（一部未導入）県や差分連動未実施（一部未実施）県では情報が足りないため、分類コード（液石リストor簡ガスリストorその他リストorリストから除外を判断する区分）が不明となり名簿作成がエラーとなるので、2:確認用リストを作成する。

作成した確認用リストを営業所経由で県に提出し、法人代表者氏名と分類コードの確認を行う。

法人代表者氏名は法人ユーザーに対して代表者の氏名をセットしてもらう、分類コードはガスの供給に対し適用する法令が液石法なら1(液石)、ガス事業法（簡易ガス）なら2(簡ガス)、高圧ガス法やその他法令なら3(その他)、監視対象外ユーザーなら9(除外)をセットしてもらう。

(4) 県から回答があったときは、回答データを確認しながら名簿基礎ファイルに転記する。

注意点

※県の回答データは、こちらで作成したファイルでなく別途県（J A）のデータベースから作成された（項目数や並び等が異なる）ものであるケースがあったり、修正方法もまちまちであるためよく確認して取り込む必要がある。

①名簿基礎ファイルからのデータ取り込みはシート1のみなので、すべてのデータをシート1にまとめて転記する。

②県の回答データの項目が取り込みファイルの項目と一致しているか確認し、一致していない場合は取り込みファイルのフォーマットに合わせる。

（シートにより項目が異なったり非表示の項目があったりするのでよく確認する）

③たとえば、氏名を変更したいデータについて変更する氏名の前に（氏名変更）と注釈を入れてあったり、その注釈付き氏名を氏名欄の隣の代表者氏名欄にセットしてきたりすることもあるので、回答データはよく確認して正しいデータに修正する。（前記の場合は代表者氏名欄にセットされた氏名から（氏名変更）という注釈を除いた氏名を氏名欄にセットし代表者氏名欄はクリアするという修正になる。）

④県でデータを追加してくるケースがあり、クライアントコード`やJA支所コード等をセットしていないこともあるのでチェックする。

⑤県で不要なデータを削除して回答してくるケースがある。分類コード`に9（除外）をセットして返してくれればいいが、行ごと削除して返されると、その顧客は分類コード`不明のままとなり、一般消費者名簿再作成時にエラーになるため、再度確認用リストを作成しそのデータは回答になかったが削除していいデータなのか？確認を行う。

削除していいデータなら分類に9（除外）をセット取り込み処理を行う。

★以下のツールを使えば回答データから監視センターシステム取込用データを作成し各種チェックを行うことができる。

K:¥6 LPガス集中監視センター¥0000 集中監視センターデータ交換¥★★保安業務委託契約書添付リスト¥ツール関連¥★更新データ作成.xlsm

（5）（4）で作成した名簿基礎ファイルを一般消費者名簿取込で取り込みする。（監視センター）

（6）一般消費者名簿出力処理にて、該当県の1:一般消費者名簿の再出力を行う。（監視センター）

不明データが（5）で正しく取り込み処理されれば一般消費者名簿が作成できるはず。

不備があればまたエラーとなるので確認する。

★データ取り込み時のエラーについて：（よくあるエラー）

①ユーザー名や住所の桁数オーバー

基本的にL T O S連動県では桁数オーバーになることはないはずであるが、L T O S未導入県等で発生する可能性がある。発生した場合は、氏名なら略して桁を減らす、住所なら住所2や3に分割したりして桁数を減らす。

②販売事業者や販売店なしでエラーになるケースがある。

使用していないJ A支所にテストユーザーが登録されていたりして、そのデータが販売事業者や販売店未登録でエラーになるケースがある。

確認して、不要なデータなら削除し、必要なデータなら販売事業者や販売店の登録を行う。